

## 平成 22 年度長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座を開催しました

防災に関する実践的知識と技術を有し、地域における防災活動等の中心的役割を担う人材を育成する講座を 2 会場で開催しました。

受講者アンケートの結果では、7 割以上の方から「大変参考になった」と評価をいただきました。

- 佐世保会場** 日時：平成 22 年 10 月 23 日～10 月 25 日（3 日間）  
場所：佐世保市労働福祉センター（佐世保市稲荷町 2-28）
- 長崎会場** 日時：平成 22 年 11 月 13 日～11 月 15 日（3 日間）  
場所：長崎県農協会館（長崎市出島町 1-20）

### 【内 容】

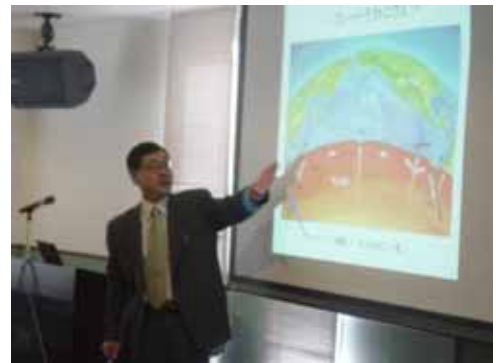
#### 「地震のしくみと被害」・「火山のしくみと被害」

講師：九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター

センター長・教授 清水 洋 氏

地震と火山のしくみや特徴、被害想定など国内外の事例の紹介を交えながら、ご講義いただきました。

長崎県内においても、最大で震度 6 強の地震が想定されることや、火山噴火予知の実現に向けた長期的な観測・研究の維持・継続が必要なことが理解できました。



#### 「災害情報と避難（最近の豪雨災害に学ぶこれからの地域防災）」

#### 「地域での実際の取組事例（地域防災力を高めるリスク・コミュニケーション）」

講師：群馬大学大学院 広域首都圏防災研究センター

センター長・教授 片田 敏孝 氏



近年の豪雨災害、特にゲリラ豪雨については、行政が適切なタイミングで避難勧告等を発令することが困難。行政主導の防災に限界がある。行政主導の防災から、住民一人一人が「自分の命は自分が守りたい」「地域の安全は自分たちで守りたい」など「主体的な自助意識」の醸成が大切である等のご講義をいただきました。

「居安思危（こあんしき）」・・・安きに居りて危きを思う

## 「気象災害（土砂災害）」

講師：長崎大学工学部 教授 高橋 和雄 氏

長崎豪雨災害や最近の災害の事例とその教訓に基づき、自主防災組織等による共助の必要性などについて、ご講義いただきました。

九州は、全国的に土砂災害が多い地域で施設などのハード対策に加えて、警戒避難などのソフト対策が重要であることがわかりました。



## 【演習】「災害図上訓練（DIG）」

講師：山口大学大学院 准教授 瀧本 浩一 氏

具体的な災害対応、防災対策を考えるためには、地域を「面」と「時間」でとらえることが必要。実際にグループにわかれ、机上の図面に、普段は気づかない、見ることができない潜在化しているリスクとしての災害の外力やその地域が持っている弱い点、強い点などを可視化し、参加者内で共有することができるDIGのご講義をいただきました。

また、自主防災組織として災害発生前及び発生後に対応すべき課題の検討をグループで行い、課題を共有することができました。



## 「被災者支援」

講師：福岡博孝法律事務所 弁護士 福岡 博孝 氏

福岡先生のご経験に基づいた「被災者生活再建支援法」の成立など、被災者救済に関する法制度について、ご講義いただきました。

被災者の生活再建が大切なことなど被災者の視点からのご講義は、説得力あるものでした。



### 【演習】「防災クロスロード」

講師：特定非営利活動法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーボード  
理事 蓮本 浩介 氏

災害時における様々な判断が必要な課題について、自らの問題として「Yes」「No」の判断を行うとともに、各グループ内でディスカッションを行いました。

予想外の意見もあり、グループ内で、各受講者の意見の共有ができたことは、とても有意義でした。



### 「災害とボランティア」・【演習】「避難所運営ワークショップ」

講師：一般社団法人 減災・復興支援機構 専務理事 宮下 加奈 氏

災害ボランティアは被災者の自立を支援するのが目的。

ボランティアのすべての行動は、自己責任、自己完結が基本。

救援物資の注意点についても、ご講義いただきました。



避難所の運営、開設、役割について、ご講義いただいた後、実際に避難所の図面を用いて、各グループで運営計画を立てました。

トイレが被災者にとって、大きな問題であることがわかりました。

## 「災害をもたらす激しい気象現象」

講師：長崎海洋気象台 次長 豊福 隆夫 氏



台風、低気圧、前線などのしくみや、気象がもたらす災害の事例など、気象現象について、ご講義いただきました。

また、気象庁などによる防災気象情報の効果的な利用について、ご説明いただきました。

## 「応急手当の基礎知識」

講師：(佐世保会場) 佐世保市消防局 中央消防署 消防士 安里 博文 氏

(長崎会場) 長崎市消防局 中央消防署 消防士 立野 秀明 氏

心肺蘇生法やAEDの使用方法などの救命処置の手順などについて、ご講義いただきました。

救急車が到着するまでの、救命処置の大切さが改めてわかりました。



佐世保会場



長崎会場

## 【受講者の声】

災害が起こる前に、地域での準備やネットワークづくりをしなければならないと思った。

災害はいつ起こるか分からないので、普段からの準備が必要と感じた。

防災に関する知識を得ることができてよかった。

防災に対する心構えや考え方が足りないことに気づいた。

今後、地域・職場で活用し、備えをしっかりとしていきたい。

防災のリーダーとして活動するためには、豊富な知識が必要と思った。